

# 一般財団法人 ぐんま未来基金 地域別支援助成事業

(事業実施期間 2025年7月1日～2025年12月31日)



(一財) ぐんま未来基金では、群馬県内を4つのエリア(東毛地域・中毛地域・北毛地域・西毛地域)に区分し、当財団のパートナーとなるローカルプログラムオフィサー(以下LP0)が各担当地域の課題をとらえ、活動団体の相談窓口として活躍してきました。

地域	LP0
東毛地域	特定非営利活動法人キッズバレイ(代表理事 星野麻実)
中毛地域	まきばプロジェクト(代表 秋山麻紀)
北毛地域	一般社団法人ちもり(代表理事 六本木勇治)
西毛地域	NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェ(代表理事 神戸るみ)

地域課題解決のために活動する多様な担い手を対象に、その社会貢献活動を自立して行えるための支援を目的として、本事業による助成金の交付を希望する団体を募集しました。下記の採択団体には活動していくにあたり、各LP0が伴走支援しました。(助成金総額 66万9600円)

## 採択団体

### 1. 東毛地域 わがままパークプロジェクト (助成金額: 5万円)

#### 事業名 『子どもたち主体』の私設公園づくりで、芽ぶく自治

“公園(パーク)づくり”から、まちの自治をリノベーションする:大間々六人衆や三方良しの会など、江戸時代に町の礎を築いたことに始まり、現代の情報発信を地域住民自身が行う自治の土壌のあるのが群馬県みどり市大間々町です。

次代の自治の形として、遊休不動産をリノベーションで公園(パーク)とするハード面の整備と、まちの人同士で、これからのまちを考え・人同士のつながりを育んでいくソフト面の仕組みをつくりたい。「あったらいいな」を専門家の知識と技術を掛け合わせ具現化、まちの人がまちに関わる機会を生み出したい。そのような思いでプロジェクトを立ち上げました。

2025年4月から、地元の小学生と武蔵野大学建築デザイン学科「OTA LAB」の学生が連携し、全5回(+特別回)のワークショップで公園づくりを行いました。8月の大間々祇園祭では、子どもたちが設計した「わがままパーク」の模型や活動の様子を展示し、自ら説明する「おひろめ会」や「花火大会」も開催しました。この活動を通じて、みどり市大間々町において、増える空き家の1つを舞台に子どもたちのアイデアを形にする事のできる場を生み出したこと、武蔵野大学という普段は大間々との関わりを持つことが少ない大学の学生さんが関わり20名を超える関係人口が増加したことが成果であり、子どもたちにとってもまちづくりへの主体性や地域とのつながりを育むことができました。



## 2. 中毛地域 社会福祉法人上毛愛隣社 母子生活支援施設 のぞみの家（助成金額：12.9万円）

### 事業名「のぞみの家 母子旅行」

のぞみの家に入所している母子は、事情があって夫や家族と一緒に生活することができない母子です。母親が抱えている課題は多岐にわたり、特に子育てに悩みや不安を抱えています。同様に、子どもも被虐待児で親との愛着関係に困難を抱えているケースが少なくないです。親子関係はもちろんのこと、地域からも孤立していた世帯といえます。

入所している母親が子どもをディズニーランドに連れていくなどは期待できず、「施設が企画をしなければ子どもたちは一生行くことが出来ない」と言っても過言ではありません。

本助成を活用することによって、母子旅行でディズニーランドに行くことができました。母子で楽しい旅行ができたことによって、より良い親子関係の構築につながったのではないかと思います。楽しい思い出は、人を幸せな気持ちにさせてくれます。入所している子どもたちの心の安定は地域の安定にも結び付いていきます。今回の経験は入所母子にとってかけがえのない思い出となりました。



## 3. 中毛地域 子育てネットワークゆるいく（助成金額：22.5万円）

### 事業名「赤ちゃんから学ぶいのちの授業」

子育てネットワークゆるいくは、「みんなの笑顔がいちばん!」をスローガンに掲げ、「人と人とのつながり・いのちのつながり」を実感できる社会の実現を目指しています。現在、核家族化や少子化、地域との関わりの希薄化、情報過多な育児環境といった背景から、子育て中の親が孤立しやすい状況が広がっています。地域全体で子育てを支える仕組みづくりが必要とされています。

私たちのビジョンは、すべての人が尊重され、支え合える地域社会を築くことです。ゴールは、子育てを通じて人と人が深くつながり、自己肯定感をもって生きられる人を増やすことにあります。そのために、親子が愛着の絆を育める場の提供や、地域とのつながりを促す子育て支援活動を行っています。子どもたちのいのちを尊重し、親と子が共に生きる喜びや希望を感じられる場づくりを通して、群馬に暮らすすべての人が笑顔で子育てできる社会を目指します。

本助成をもとに前橋市近郊の中学校 10 校の授業時間に「赤ちゃんから学ぶいのちの授業」を提供しました。助成があったからこそ、子どもたちにとっての「いのちの授業」がより確かな形で継続でき、未来への贈り物とすることができました。また、団体としても運営強化の基盤にもつながりましたし、スタッフの育成という重要な課題にも役立てることができました。



#### 4. 北毛地域 特定非営利活動法人ミニヨン・スター（助成金額：7.5万円）

##### 事業名「ファミリーホーム～障害者も高齢者も共に働き、暮らせる場所づくり～を目指して 第一弾：新しい働くコミュニティを創出するプロジェクト」

障害があってもたくさんの経験や体験をさせたい、障害があっても住み慣れた地域でずっと暮らしたい、そんな思いを持った仲間と活動を始めました。障害を持つ本人やご家族はみな様々な問題を抱えて、個々に頑張っている限界があります。でも仲間がいれば助け合って、一緒にいろいろなところへ出かけ、様々なチャレンジもでき、何よりも孤独を感じる事がなくなります。私たちは何でも話せる場所として団体を運営しています。

本助成をもとに、障害者も高齢者も共に働き、共に暮らすことを目指すコミュニティづくりの活動を開始しました。はじめに先進事例を学ぶために、富山型デイサービスの創始者の講演会を実施しました。また、地域で働きたい障害者の職業体験も実施することができ、現在、事業所にパソコン入力業務担当として1名がトライアル雇用中です。本活動をする中で新たな社会課題を知るきっかけにもなりました。今後も活動を続けることで関係者の交流を促進し、コミュニティづくりを進めていきたいと考えています。今後も「共に働き共に暮らせる場所」が増える未来を一緒に作りましょう。



#### 5. 北毛地域 特定非営利活動法人のびるっこ（助成金額：7.5万円）

##### 事業名「Digital かかあ天下プロジェクト（デジタルお悩み相談室）」

本活動は、渋川市を拠点に、子育てや介護などライフイベントで社会とのつながりが希薄になってしまっている女性を主な対象とし、デジタルスキルの習得により、時間や場所に縛られない柔軟な働き方を実現することを目指すものです。専門家を招き、デジタルスキル習得を目的としたオンライン講座を実施しました。主な対象は、子育て中や復職を目指す女性、また新たな働き方を模索している女性たちです。

北毛地域では、県主催のセミナーや都市部の支援サービスにアクセスしにくく、行政による公助が届きにくい側面があります。そこで、地域の女性たちが互いに学び合い支え合う“共助”の仕組みとして、本講座を位置付けました。地域の女性たちが新しい働き方や社会との関わり方を見つけ、自立とつながりを育む第一歩となることを目指して活動してきました。

本事業を通じて、デジタル分野における多様なニーズを把握し、今後の活動指針を確認できました。また、活動の軸を揺るぎないものにするため、LPOと連携・相談しながら本事業を進め、組織としての方向性を再定義することができました。



## 6. 西毛地域 特定非営利活動法人つながるん場（助成金額：44,242円）

### 事業名「出張がんサロン」

私たちの活動は、がん患者が安心して集い、体験を分かち合える居場所を提供するものです。同じ経験を持つ仲間だからこそ共感し合える場が、新たな一歩を踏み出すきっかけになります。また、地域住民との交流を通じて、がんに対する正しい知識が浸透することで、予防できるがんがあること、がん検診による早期発見の重要性などを自分事として捉えてもらえます。

がん患者の悩みや困りごとを丁寧に傾聴し、安心して話せる場を提供しようと準備を進めました。がん患者がサロン等の交流の場に参加し、同じ境遇の人の話を聞いたり、自らの体験を語ることにより、一人ではないと実感し、病気への向き合い方や心の持ち方に変化が生まれます。共感と対話によって、希望や安心感が得られ、治療への意欲や生活の質(QOL)の向上につながると考えているので、これからも周知活動も含めて様々な地域で実施できるように活動していきたいです。

がんサロン  
～ NPO 法人つながるん場 ～  
仲間やがんピアサポーターがあなたをお待ちしています!!

- ★ 「がんサロン」はがん患者、がん患者の家族などの交流の場です。
- ★ あなたの思いや悩み、体験を共有してみませんか？
- ★ 遠くお集りが楽になりますよ。
- ★ 短時間（遅れてくる、途中で帰る）参加も可設です。
- ★ 気軽に参加してください。
- ★ ◎◎みんなが笑顔でお話します。

※がんピアサポーターとは  
本人や本人の家族ががん患者で、癌医の研修を受けた経験者です。協力をします。

日時 11月15日(土) 13:30～  
12月13日(土) 13:30～  
場所 下田町公民館 ボランティア室  
住所: 下田町大字下田111-2 3階  
参加費 無料

自分だけが苦んでいて、みんな、がんと闘っている仲間なんだから。

【お問い合わせ】  
NPO 法人つながるん場  
代表 尾花 隆子  
TEL: 050-9470-5783  
Email: tsunagarunba@gmail.com

この事業は、「ぐんま未来基金」の助成により行われています。

## 7. 西毛地域 一般社団法人ぐんまオペラバレエ振興会（助成金額：71,358円）

### 事業名「高崎オペラシアター 地産地消オペラ『椿姫』」

私共は「地産地消オペラ」という名の下で活動しています。地元の方々に活躍して頂き、地元の方々にオペラの魅力を楽しんでいただきたいという思いが込められています。オーケストラ、オペラ歌唱、合唱、バレエ。県内ではそれぞれの分野では各々が活躍していますが1つに結集して“地元の力で創り上げるオペラの上演”はありませんでした。その理由の1つに資金面が挙げられます。オペラは総勢170名が携わる総合芸術であり、費用が高みます。ただ、取り組んでみないと進まないと考え、過去の高崎芸術劇場大劇場でのオペラ動員数よりその需要があると踏み、2025年5月に上演に踏み切りました。

今回、ぐんま未来基金の助成を受けたことをSNSで発信したところ、歌手・スタッフからの信頼が一段と深まりました。さらに地域文化事業としての評価が、行政・劇場レベルへと広がりました。そこからまた地域イベントに参加したり、写真館様から衣装をいただいたりと地域に輪がひろがりました。金銭ではなく「信頼」が資源として循環したのです。まさに、助成が「信頼」を生み、地域へ広がっていった半年だったと言えます。この助成は、「お金」だけでなく「続けてよい」という社会からのメッセージだったのです。

2026年も群馬県にゆかりのあるメンバーにて構成されたオペラ「椿姫」を高崎芸術劇場大劇場にて上演予定です。プロによる生演奏、プロオペラ歌手による歌唱など、本物の舞台を作ることにかけて活動しています。この活動が若い世代へ繋がり、“群馬県にて最良の環境で芸術を披露する場がある”という子ども達への夢・芸術文化の長期的な発展にも繋がるものと考えています。





公開2次審査会 2025年6月8日群馬県庁32階

## ぐんま未来基金 地域別支援助成 全7団体を採択

県庁で2次審査会

住民や企業から寄付を集め、地域の課題解決に生かすぐんま未来基金（前橋市大渡町、

小竹裕人代表理事）は8日、同基金が実施する助成プログラム「地域別支援助成」の公開2次審査会を県庁で開いた。1次審査を通じた7団体が、それぞれ地域に根差した事業についてプレゼンテー

上毛新聞 2025年6月12日付



贈呈状を手渡された団体の代表者ら

ションした。助成プログラムは東毛、中毛、北毛、西毛の4地域に分けて募集。この日は、7団体の代表者らが空き家を活用した子ども向けワークショップや、中学生が赤ちゃんと触れ合う体験といった事業を熱意あふれる語り口で紹介した。審査の結果、全団体の採択が決まり、贈呈状が手渡される予定。来月1月に7団体の事業の活動報告会が開

た。助成金総額は6万9600円。審査員も務めた小竹代表理事は「出生数が低下する中、今の子どもを丁寧に育てていかなければならない。子どもに関する事業の応募が多かったのは皆さんも同じ気持ちなのかと感心した」と総評した。



活動報告会 2026年1月31日 ぐんま男女共同参画センター